
III 5. F-21断層の評価

III 5. 1 F-21断層の特徴

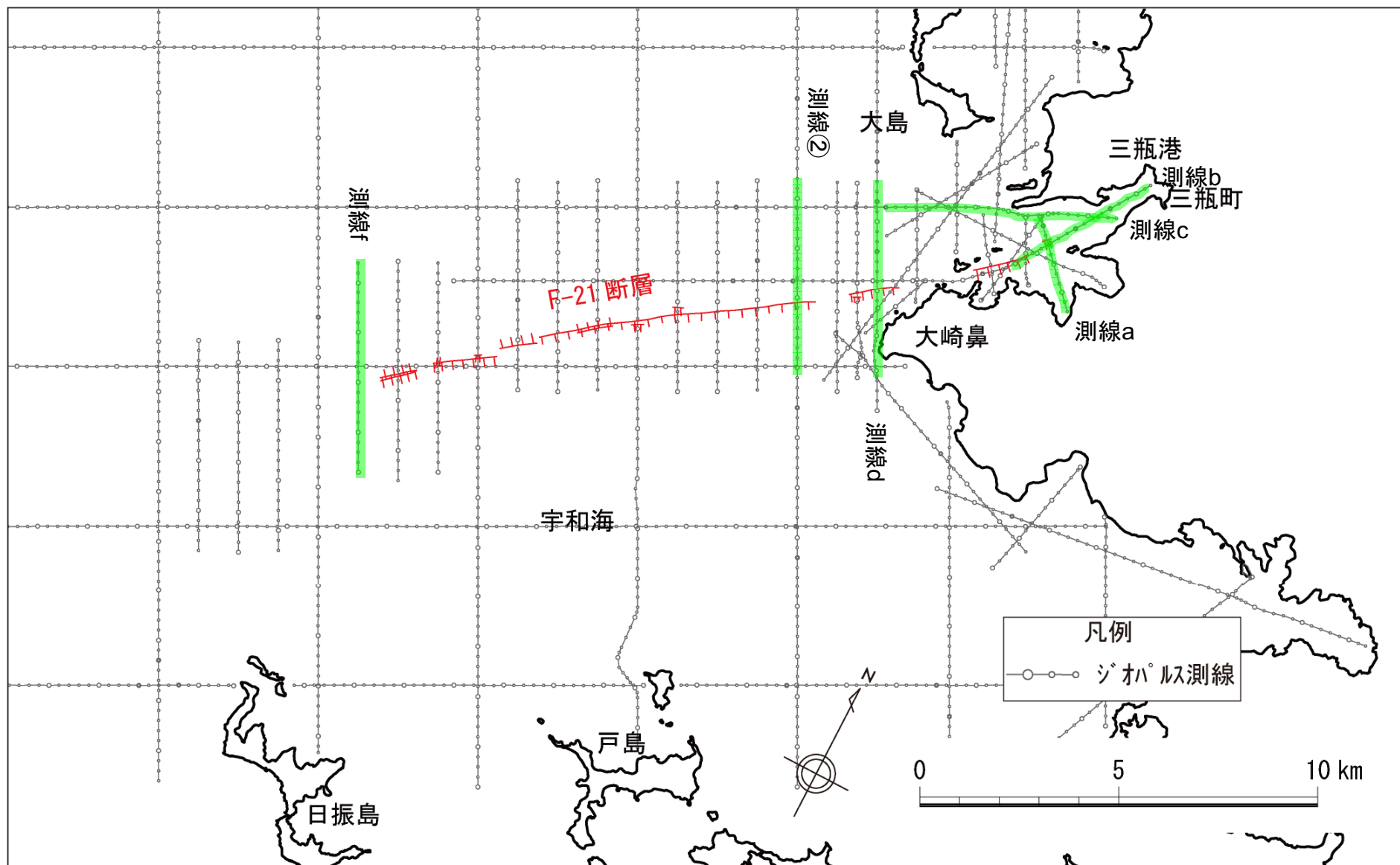
III 5. 2 F-21断層東端部の評価

III 5. 3 F-21断層西端部の評価

III 5. 4 F-21断層の断層長さ

Ⅲ 5. 1 F-21断層の特徴

III 5. 1-1 F-21断層分布域のジオパルス測線図

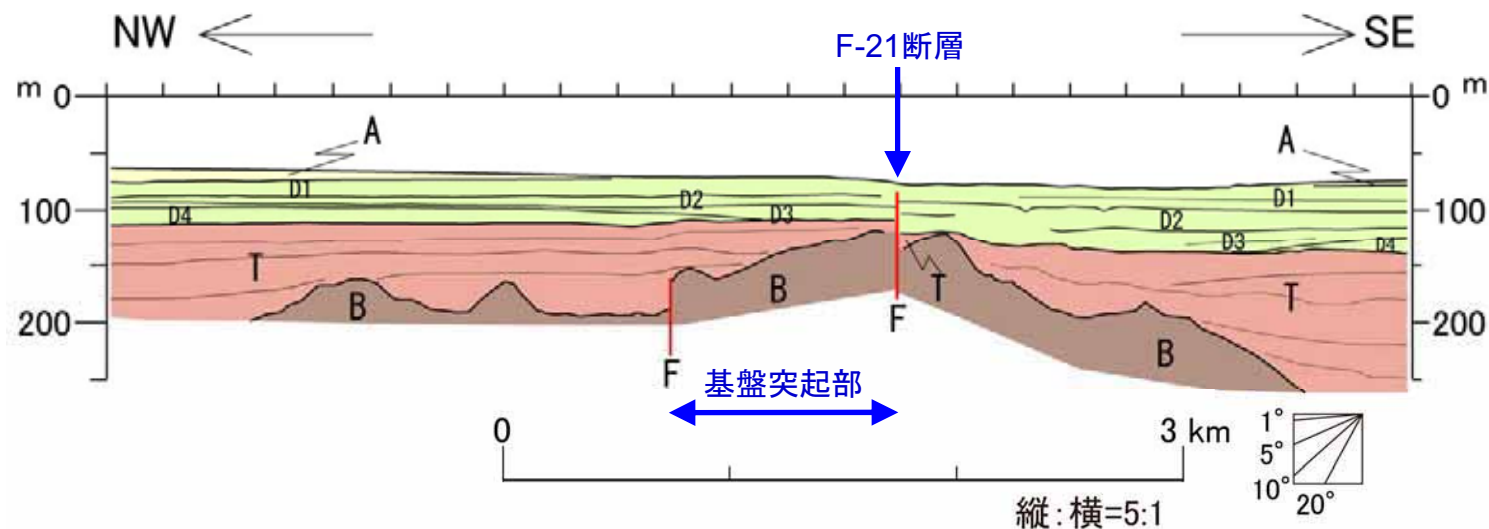
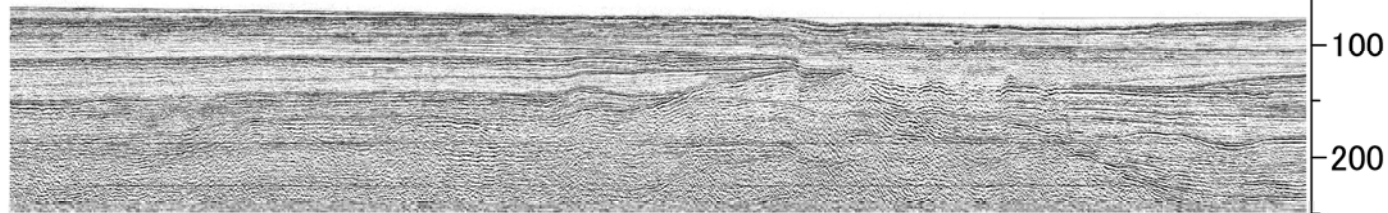
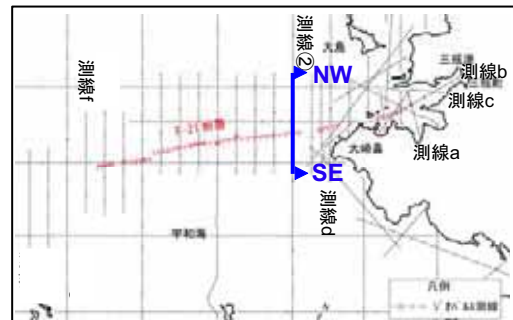


III 5. 1-2 F-21断層の海底地質断面図 (瀬戸南方断面)

添付資料 図-89

F-21断層は、基盤（B層）突起部の南側に位置する。

ジガルズ
NW (測線②)



III 5. 1-3 F-21断層の海底地質断面図(大崎鼻西方断面)

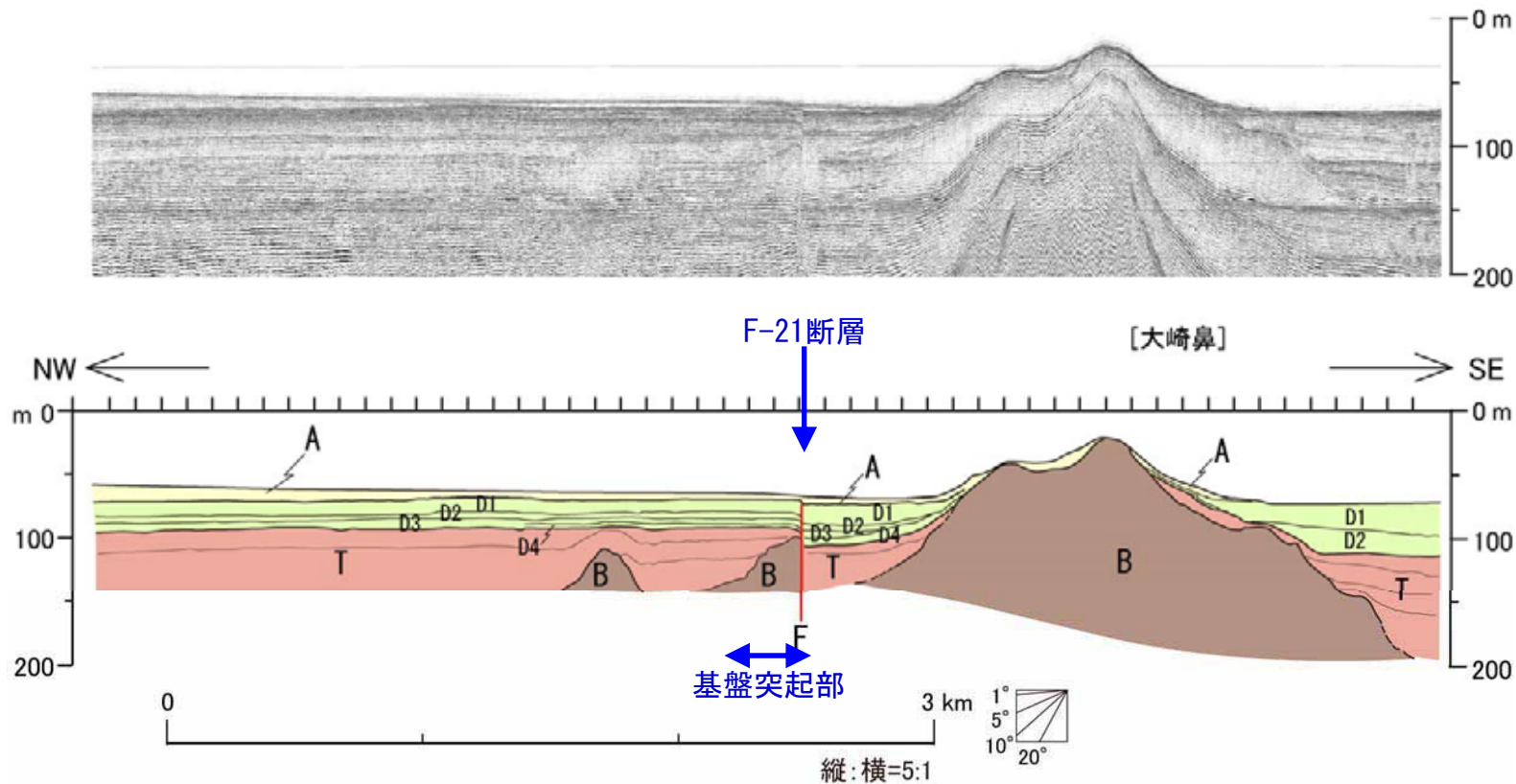
添付資料 図-90

F-21断層は、基盤（B層）突起部の南側に位置する。

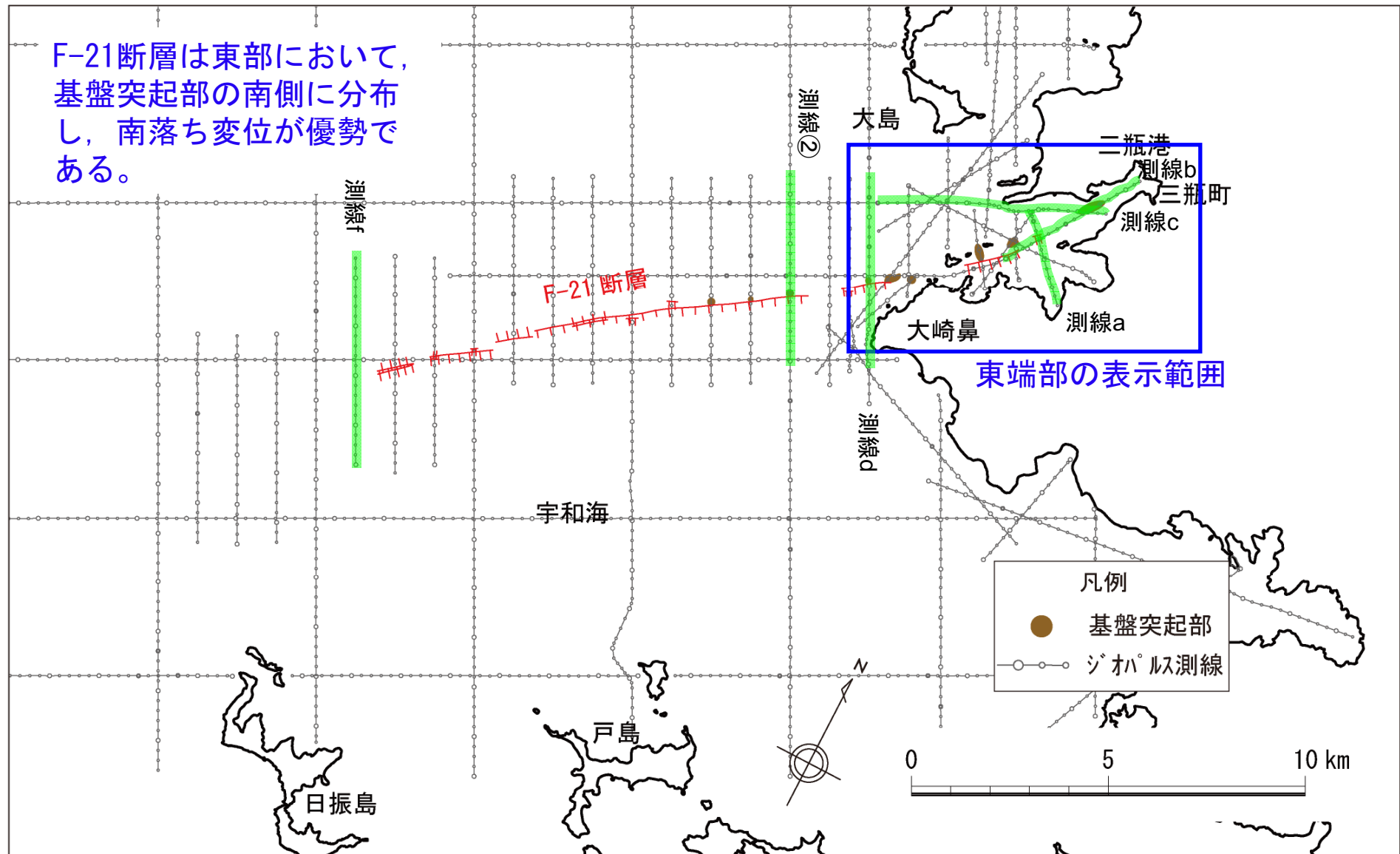
NW

ジオハルス
(測線d)

SE

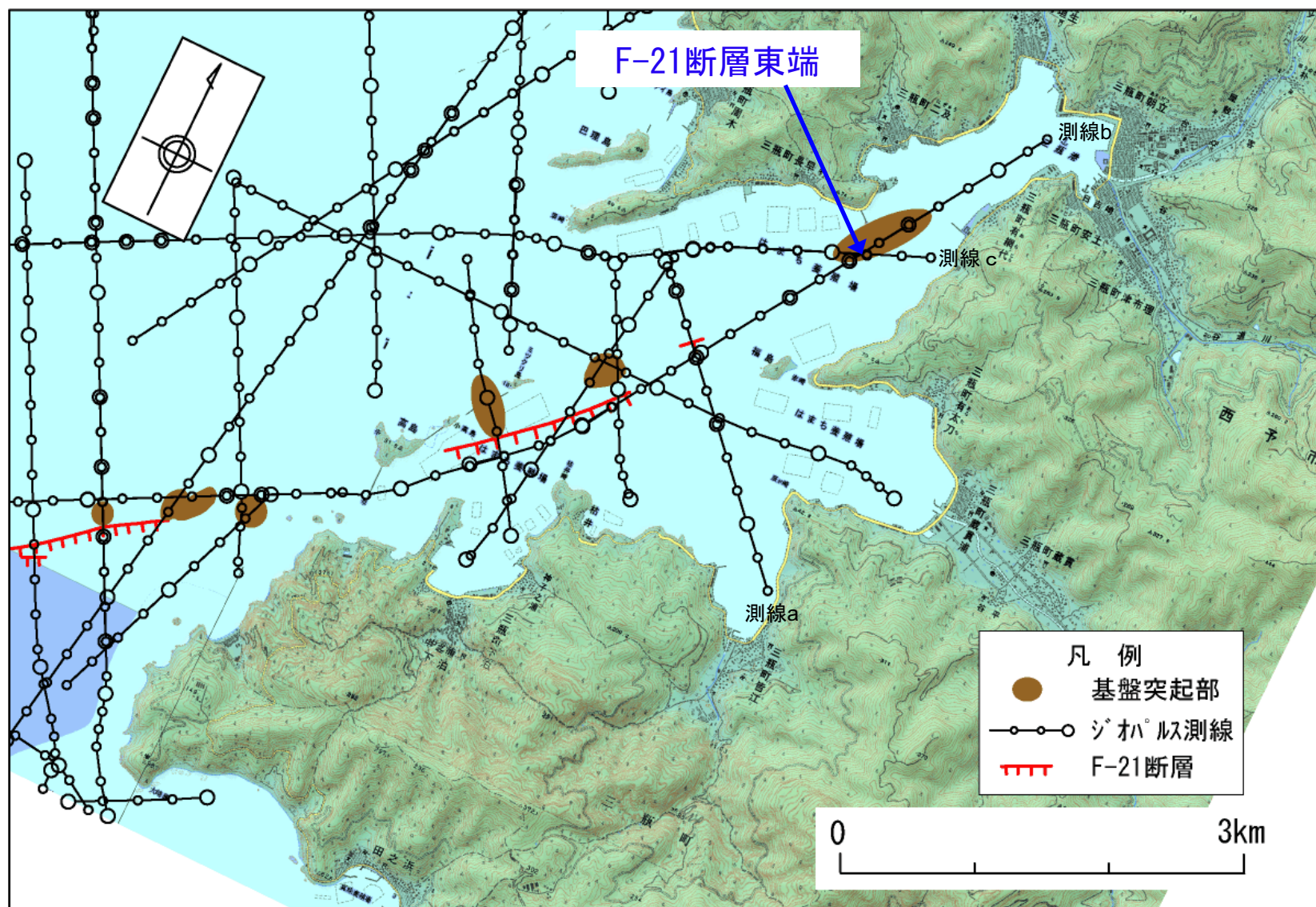


III 5. 1-4 F-21断層と基盤突起部の位置関係



III 5. 2 F-21断層東端部の評価

III 5. 2-1 F-21断層東端部の探査測線と断層分布

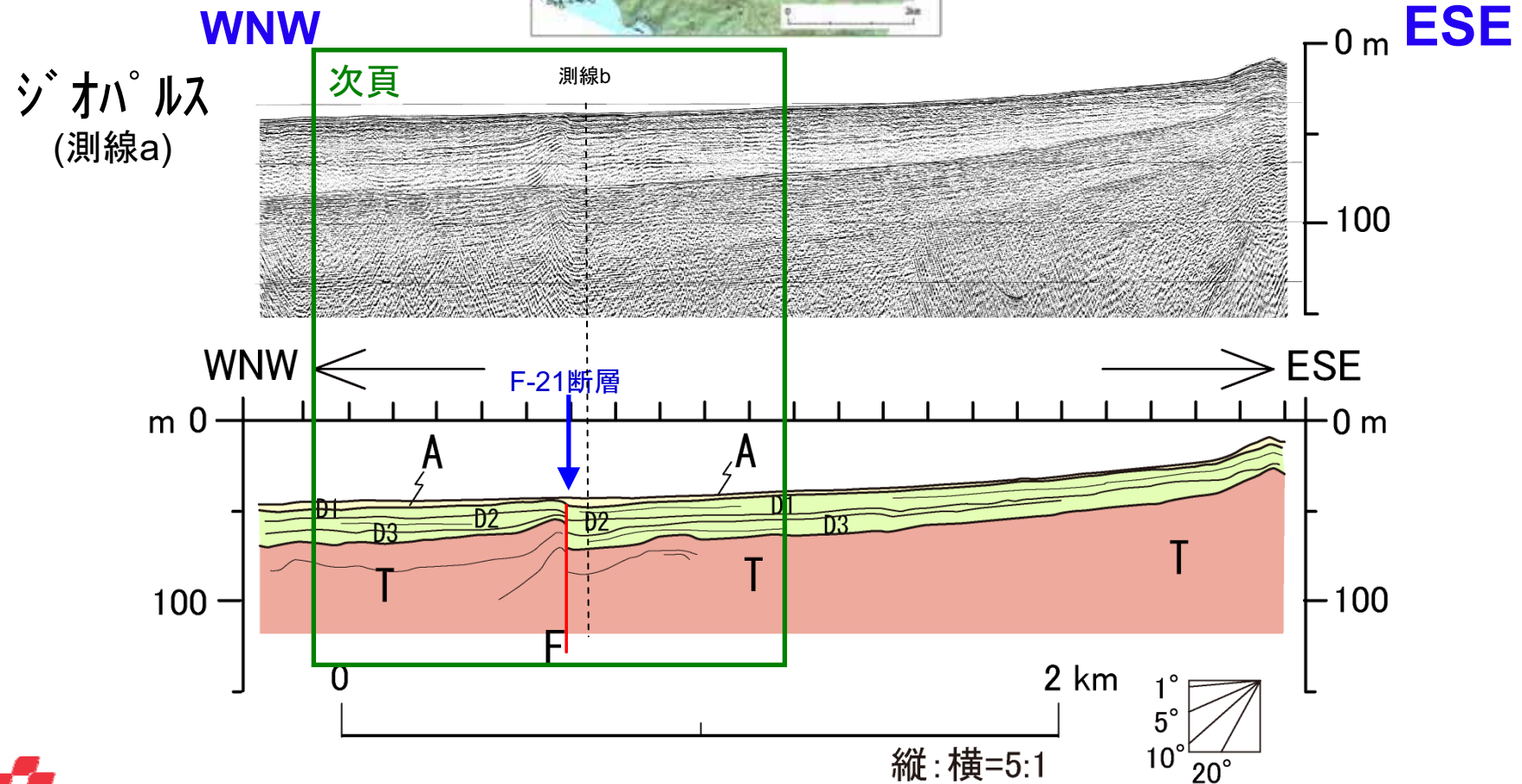


国土地理院発行「数値地図25000(地図画像)」，「数値地図50mメッシュ(標高)」及びカシミール3Dを用いて作成

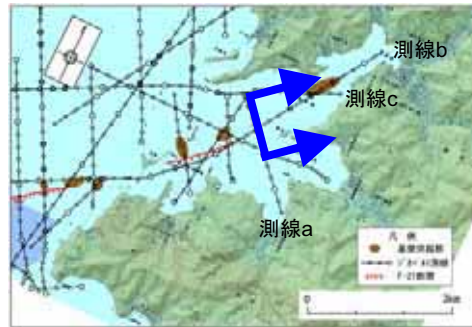
III 5. 2-2 F-21断層の海底地質断面図(東端付近)

添付資料 図-91

F-21断層は、高角度で南落ちの断層として認められる。



III 5. 2-3 F-21断層の海底地質断面図(東端付近拡大)



F-21断層は、高角度で南落ちの断層として認められる。

ジオハルス
(測線a)

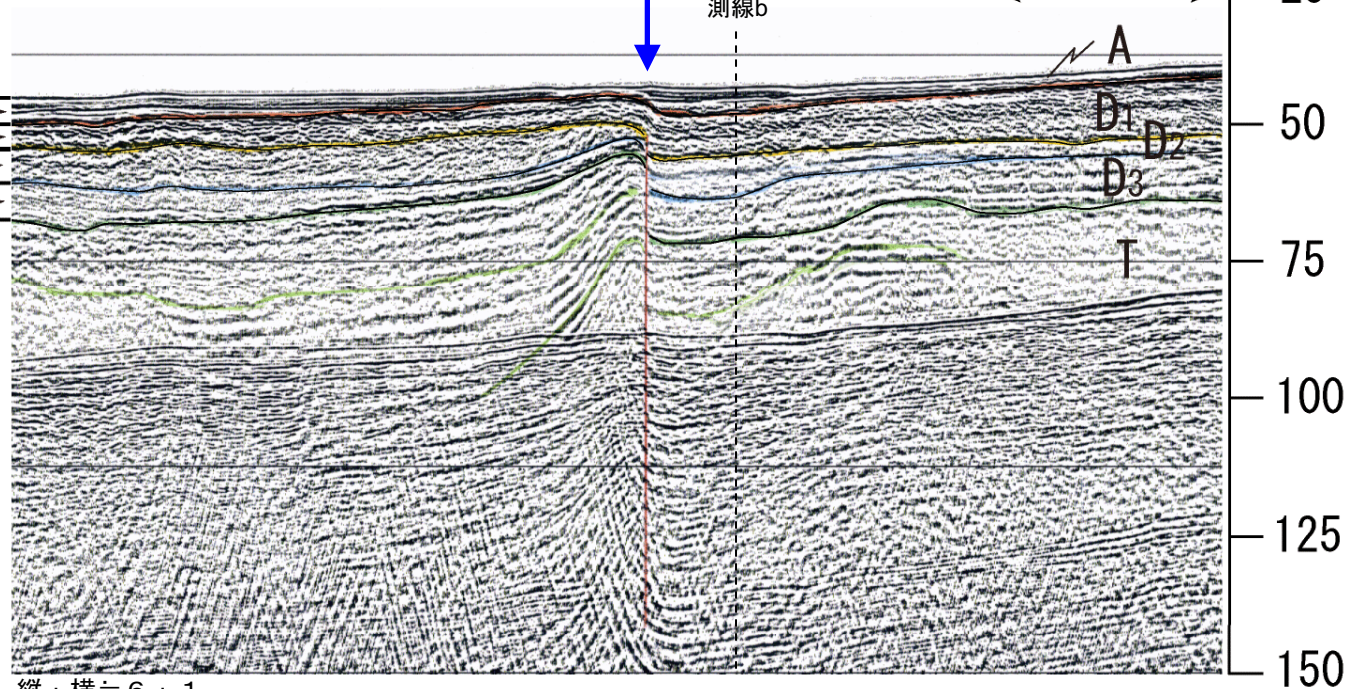
WNW ←

海
A
D₁
D₂
D₃
T

F-21断層

測線b

→ ESE (EL. -m)
約250m



縦：横＝6：1

III 5. 2-4 F-21断層東方延長部の海底地質断面図①

北北東-南南西断面

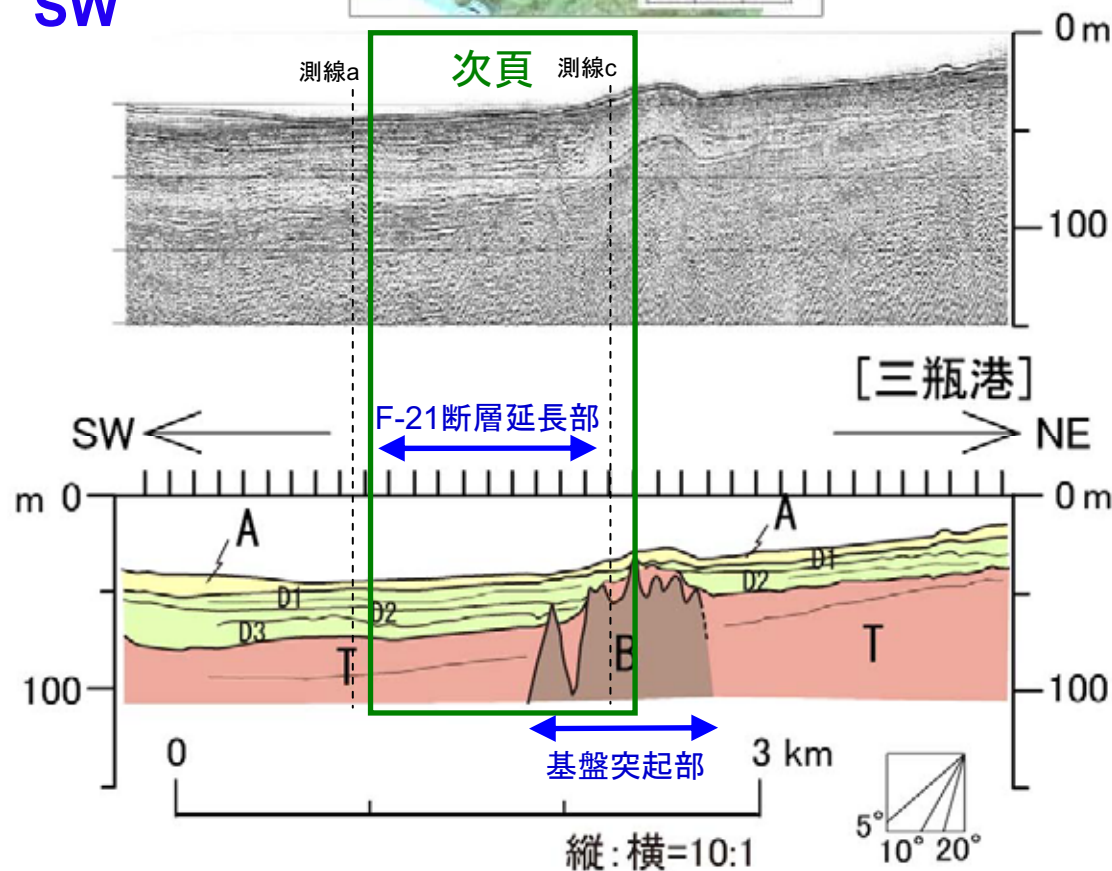
添付資料 図-92

F-21断層の東方延長海域に分布する基盤突起部の南側に断層は認められない。

ジオパルス
(測線b)

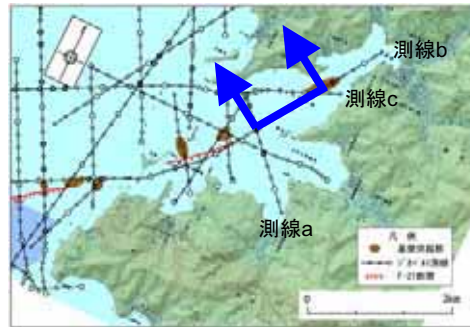
SW

NE



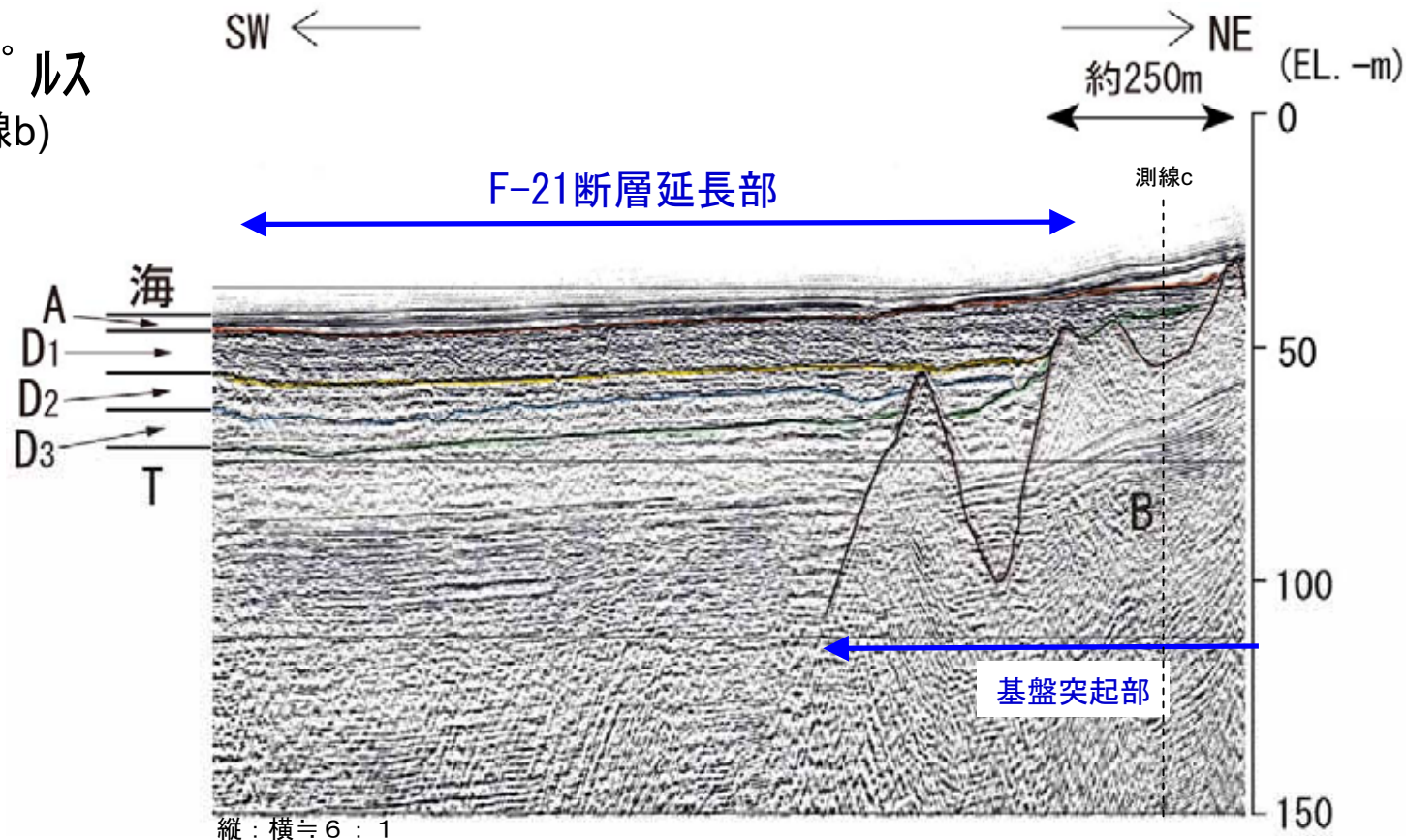
III 5. 2-5 F-21断層東方延長部の海底地質断面図①(拡大)

北北東-南南西断面



F-21断層の東方延長海域に分布する基盤突起部の南側に断層は認められない。

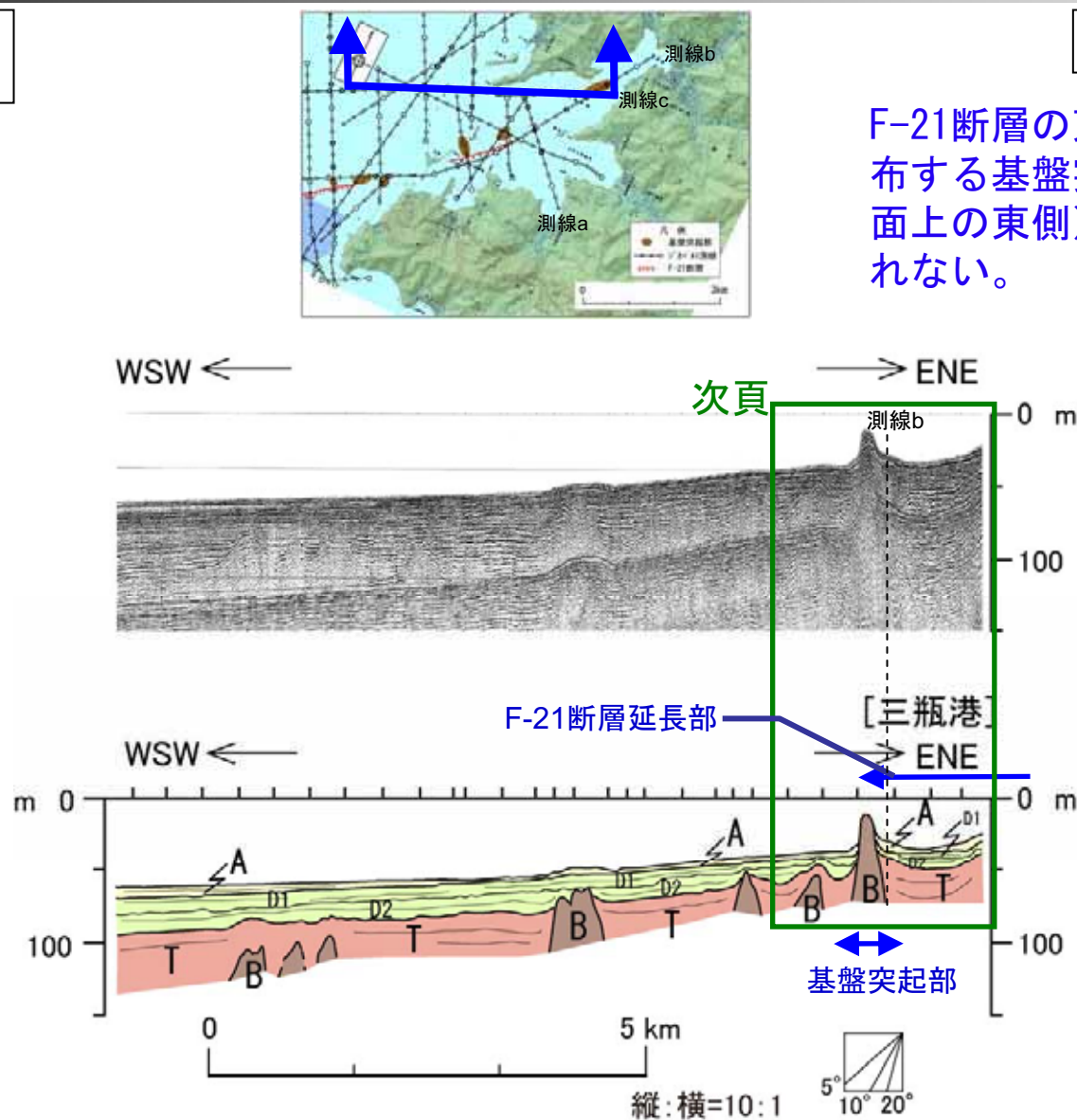
ジオパルス
(測線b)



東西断面

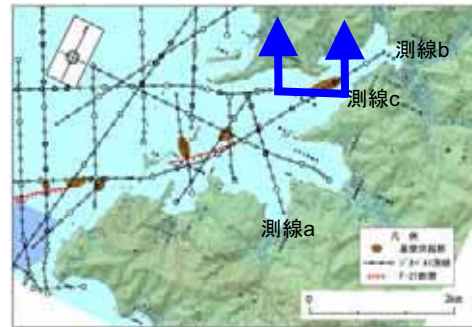
F-21断層の東方延長海域に分布する基盤突起部の南側（断面上の東側）に断層は認められない。

ジ^ゞオハ[°]ルス
(測線C)



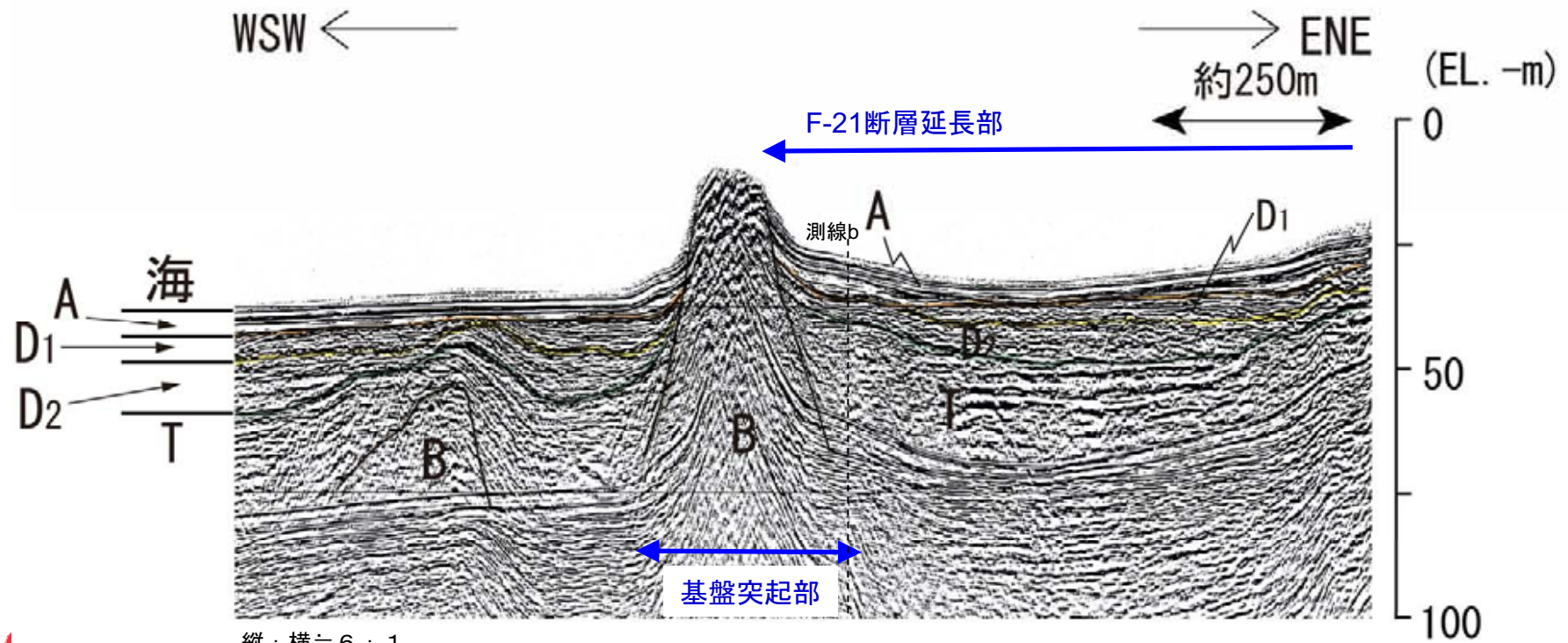
III 5. 2-7 F-21断層東方延長部の海底地質断面図②(拡大)

東西断面



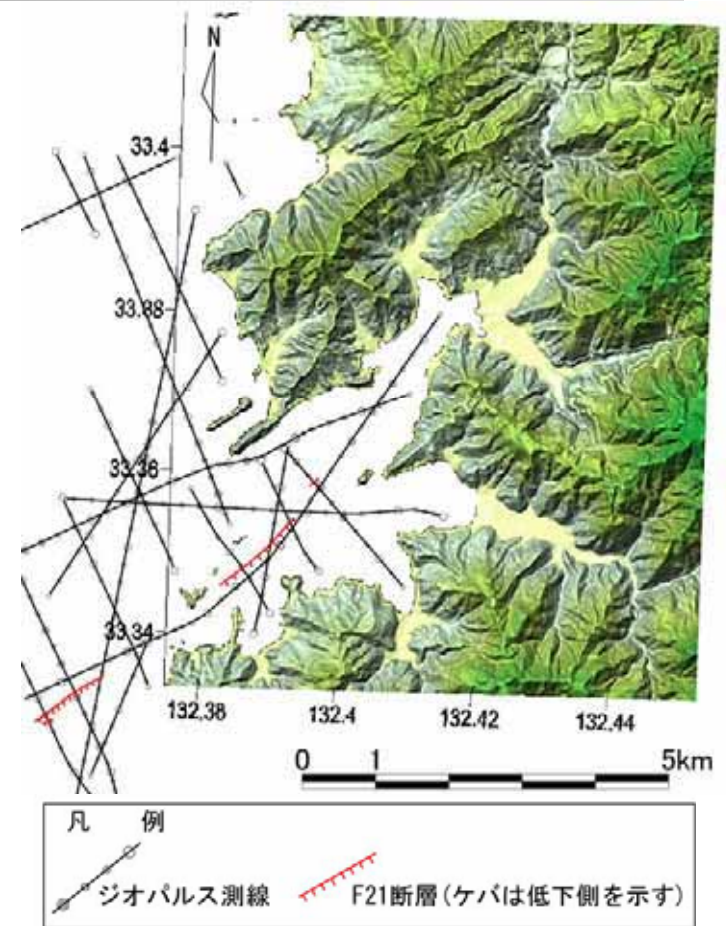
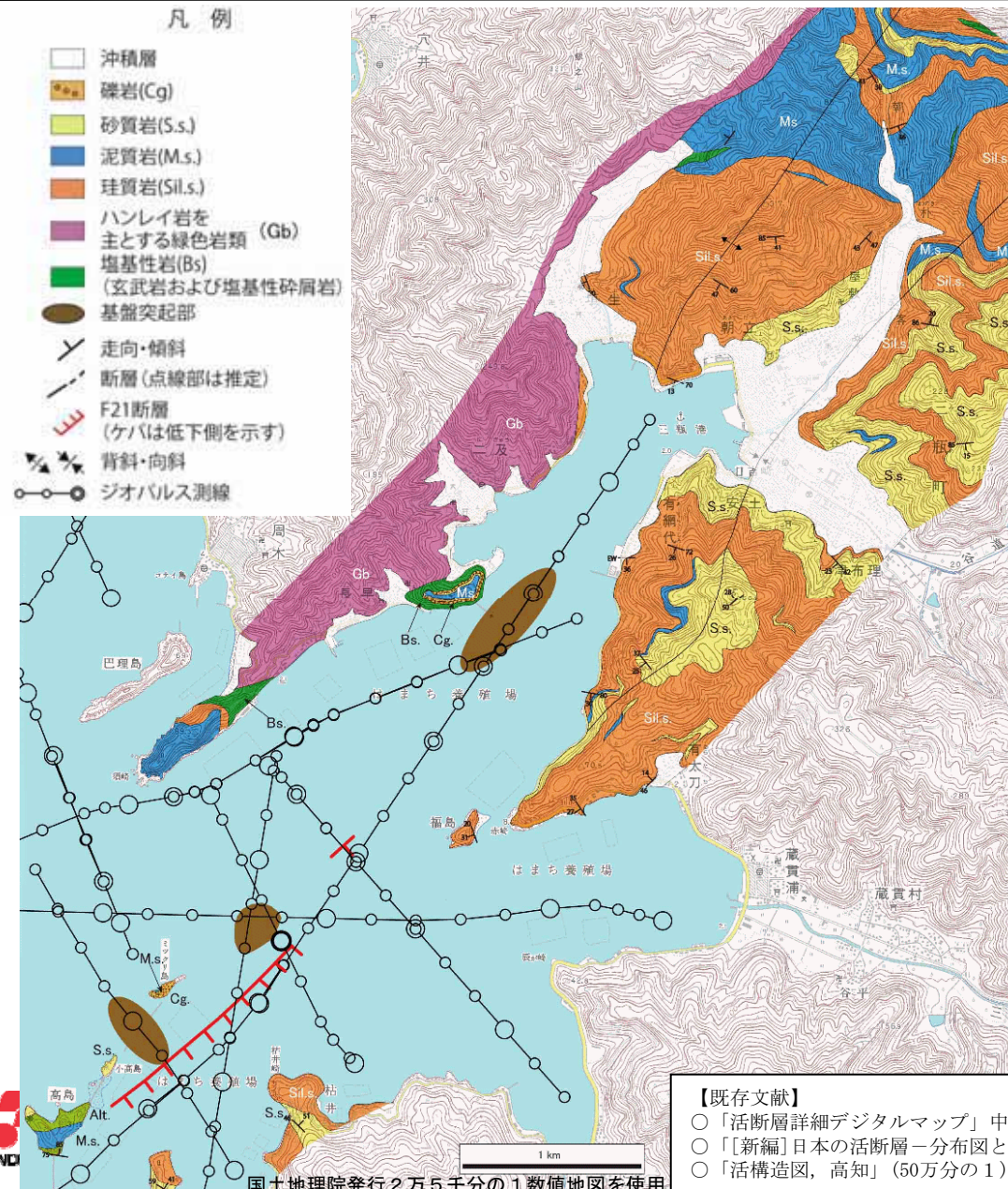
F-21断層の東方延長海域に分布する基盤突起部の南側（断面上の東側）に断層は認められない。

ジオハルス
(測線c)



縦：横≒ 6：1

III 5. 2-8 F-21断層東方延長陸域の地質・地質構造



国土地理院 10mメッシュ標高データを用いて作成

F-21断層の東方延長陸域に既存文献による活断層の指摘はなく、空中写真判読によっても断層変位を示唆する地形は認められない。

【既存文献】

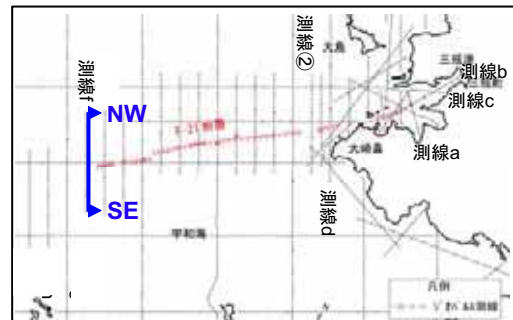
- 「活断層詳細デジタルマップ」中田高・今泉俊文編, 2002
- 「[新編]日本の活断層—分布図と資料—」活断層研究会編, 1991
- 「活構造図, 高知」(50万分の1)佃栄吉・寒川旭・衣笠善博, 地質調査所, 1982

III 5.3 F-21断層西端部の評価

III 5. 3-1 F-21断層西方延長部の海底地質断面図

D 2 層最下部以下に微小な撓みを与える高角度の断層がみられるものの、これより上位の地層には変形が認められない。

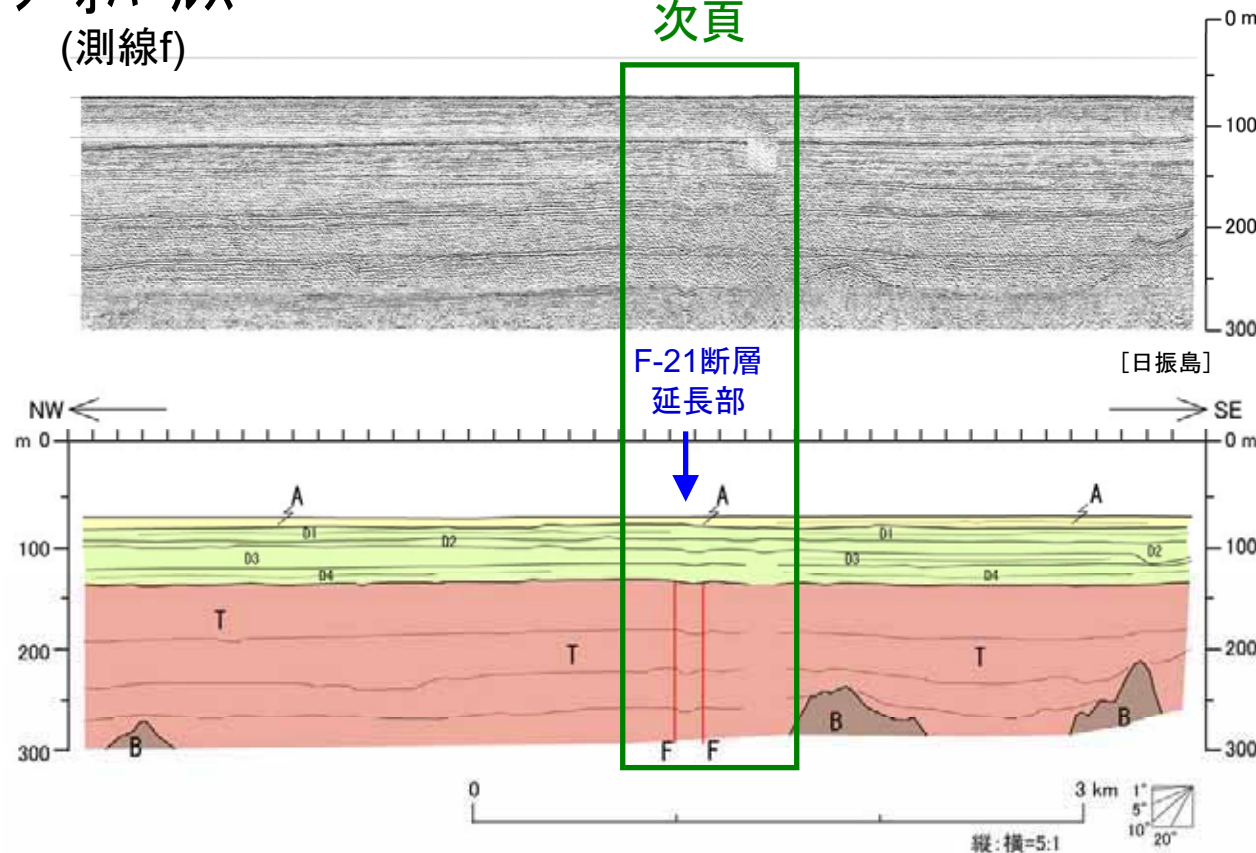
NW ジオハールス
(測線f)



添付資料 図-94

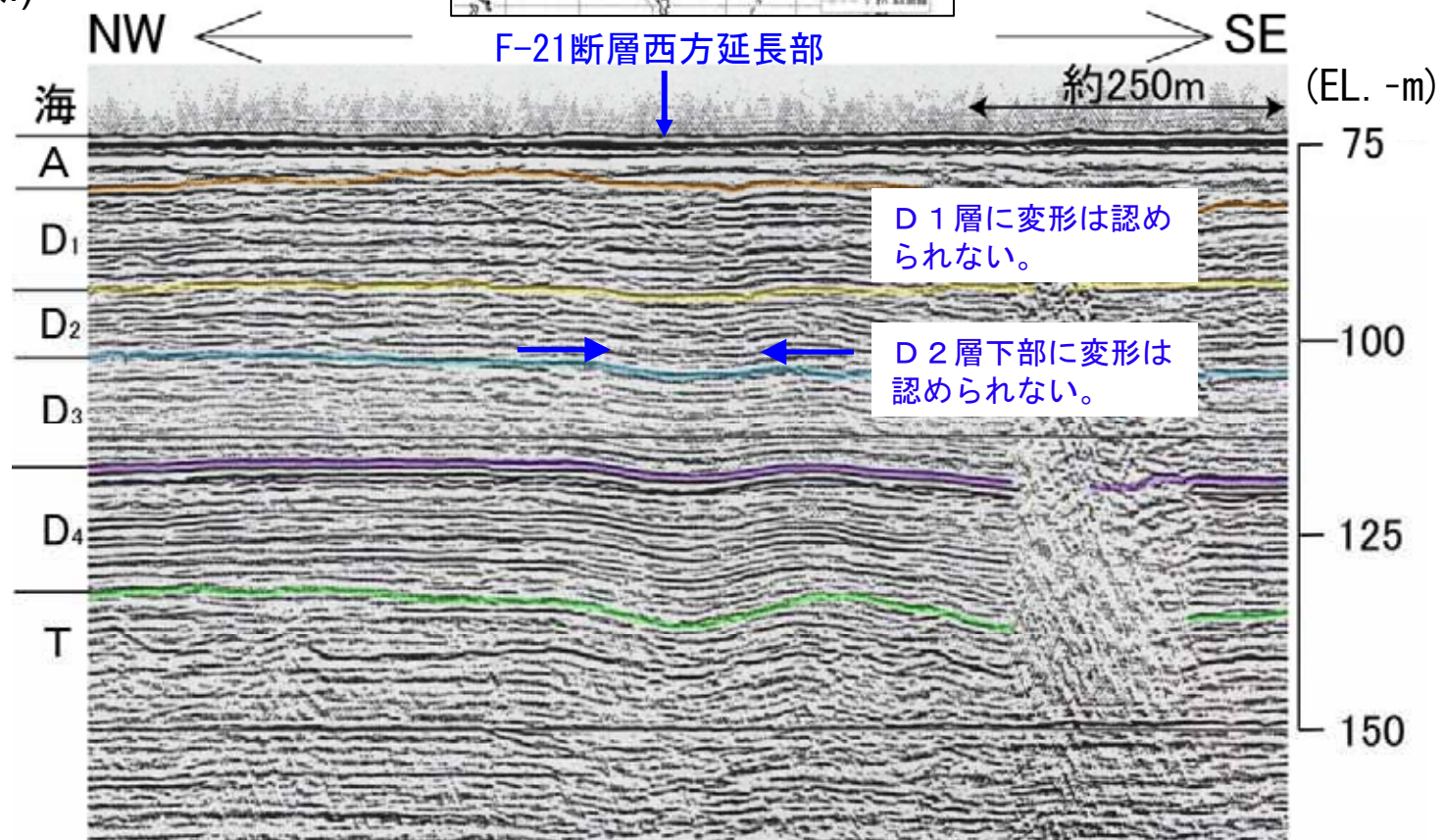
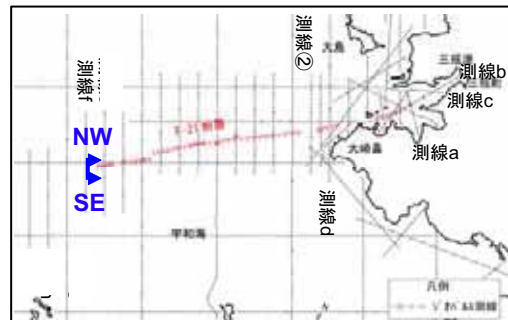
次頁

SE



III 5. 3-2 F-21断層西方延長部の海底地質断面図(拡大)

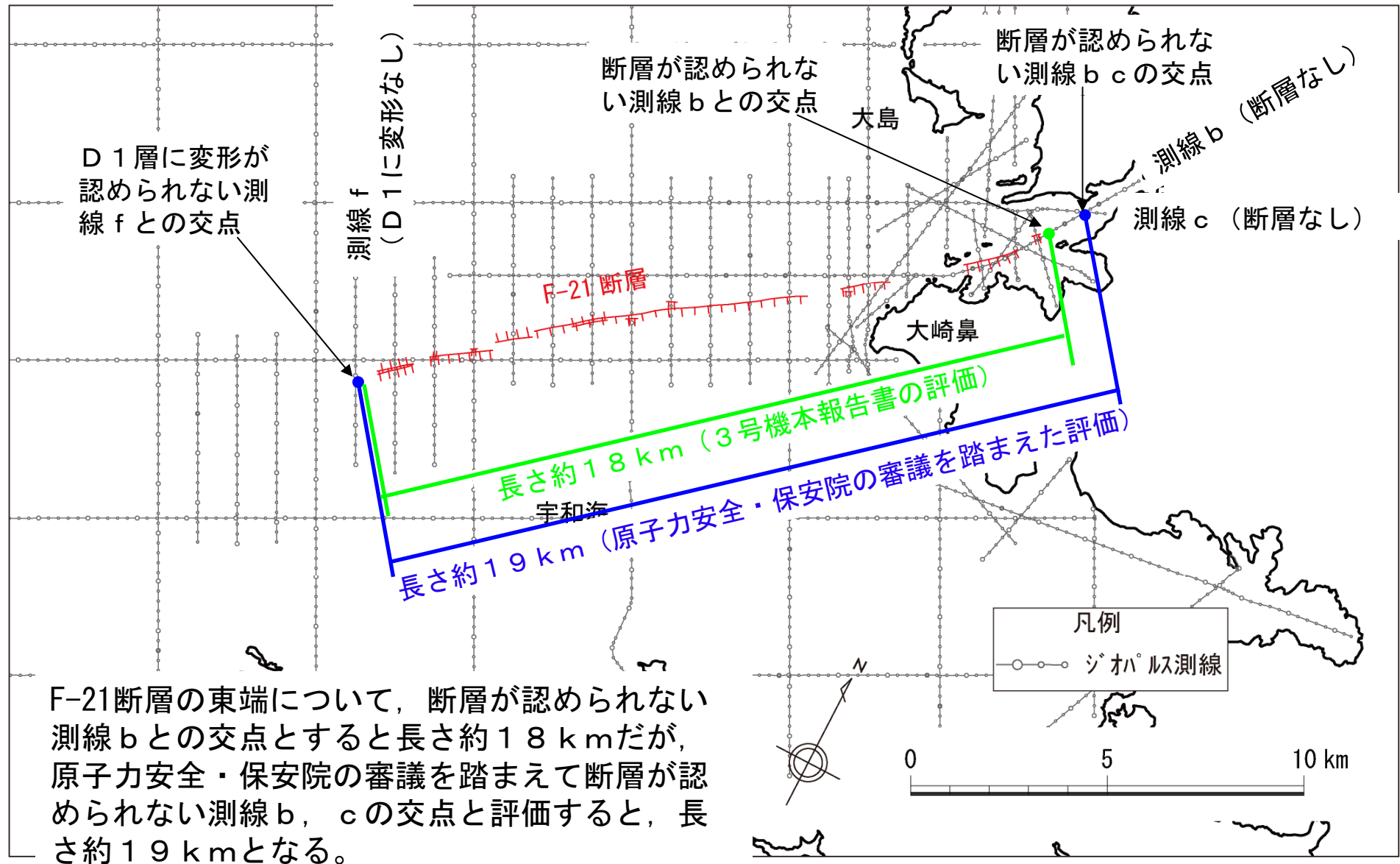
ジオパルス
(測線f)



縦：横＝6：1

III 5.4 F-21断層の断層長さ

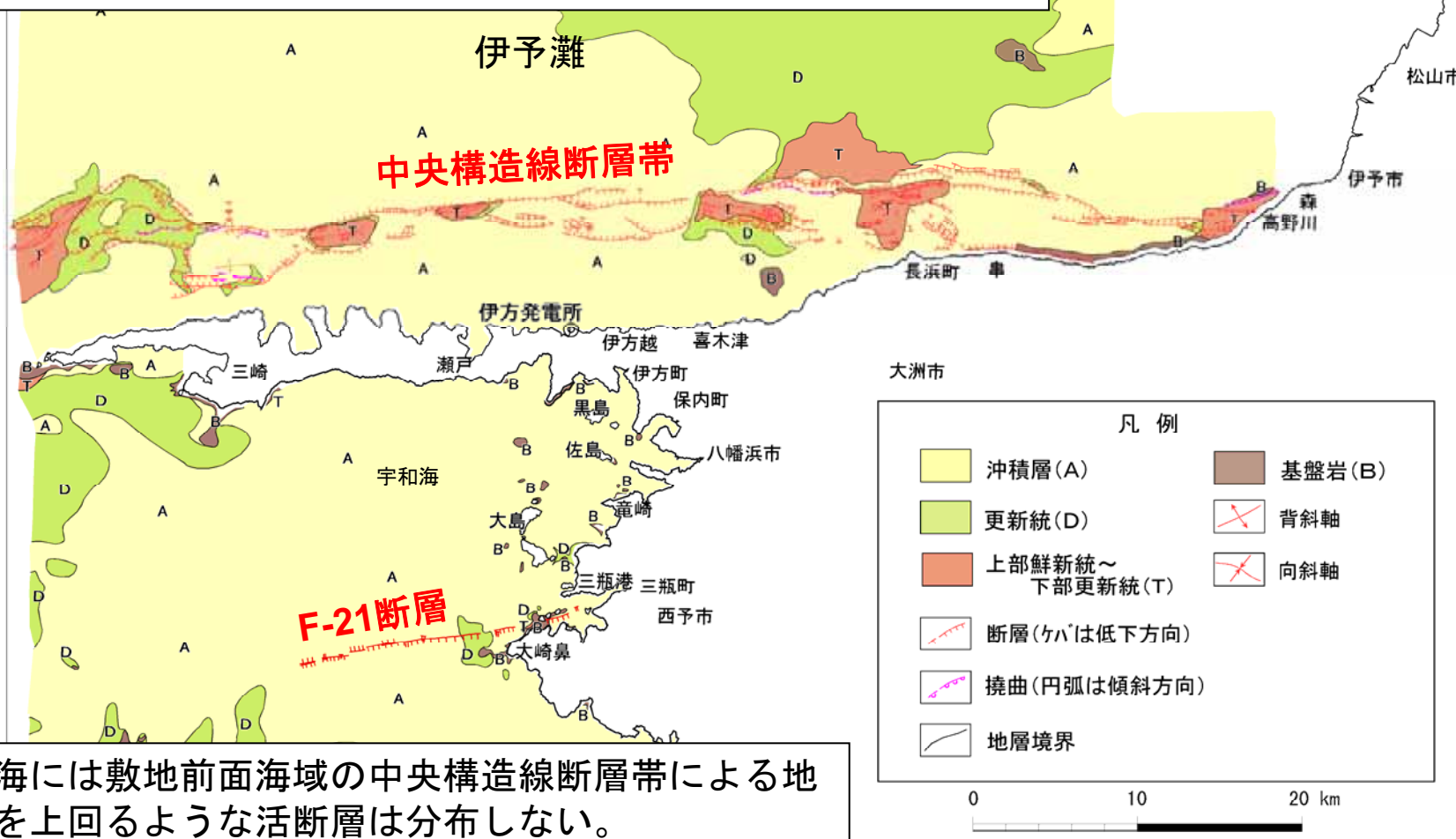
III 5. 4-1 F-21断層の長さ



III 5. 4-2 宇和海の調査結果(まとめ)

添付資料 図-95

F-21断層には約19kmの区間で後期更新世以降の活動が認められる。全般に南落ち変位が優勢で、直線的な断層分布、さらには断層の走向と広域応力場の関係から横ずれの卓越する断層運動が推定される。



宇和海には敷地前面海域の中央構造線断層帯による地震動を上回るような活断層は分布しない。